

整備候補地検討作業計画

H28.2.5 現在

- 作業スケジュールは以下の通り、全 10 回（27 年度 4 回、28 年度 6 回）の開催を予定しています。
- 施設整備計画の検討を実施するため、平成 28 年 11 月までに最終候補地を 3 箇所程度、選定することを目指としています。
- 検討の進捗にあわせ、その内容について適宜、情報公開をいたします。

年月	検討テーマ	検討項目	詳細内容等
平成 27 年度	9 月 (済)	第 1 回検討委員会 ・ 広域化基本構想説明	(1)委員長・副委員長選任 (2)候補地検討作業計画
	11 月 (済)	第 2 回検討委員会 ・ 候補地選定条件(案)の検討 ・ 候補地評価方法(案)の検討	(1)調査対象地域抽出条件(案)の設定 (2)立地回避条件の設定<1>
	1 月 (済)	第 3 回検討委員会 ・ 候補地選定条件の決定 ・ 候補地評価方法の決定 ・ 第 1 次選定(案)の検討	(1)調査対象地域(案)の検討 (2)立地回避条件の設定<2>
	2 月	第 4 回検討委員会 ・ 第 1 次選定の決定 ・ 第 2 次以降の選定について	● 1 次スクリーニング：法規制等より施設整備が困難と判断される地域を除外する
平成 28 年度	5 月	第 5 回検討委員会 ・ 第 2 次選定(案)の検討	● 2 次スクリーニング：様々な条件の組み合わせを検討し、適当な候補地の選定を行う。
	6 月	第 6 回検討委員会 ・ 第 2 次選定	候補地を 10～12 箇所程度選定する。
	7 月	第 7 回検討委員会 ・ 第 3 次選定	候補地を 5～6 箇所程度選定する。
	9 月	第 8 回検討委員会 ・ 候補地の現地調査	現地及び周辺の視察，確認
	10 月	第 9 回検討委員会 ・ 第 4 次選定	最終候補地 3 箇所程度を決定する。
	11 月	第 10 回検討委員会 ・ 報告書のとりまとめ	・ 周辺施設の整備の方向性について，詳細を詰める事項を確認，整理する。

整備候補地選定の手順

整備候補地選定の手順と考え方

- 候補地選定の手順を下図に示します。
- 検討は、以下の考え方にに基づき、4段階で進めるものとします。

第1次選定：必要面積等から整備可能地域の条件を設定し、法的規制や災害の影響など、不適切と考えられる地域を除外し、残った範囲から条件に適合する地域を抽出する。

第2次選定：各種制約への適合性、諸条件への効率性、施設整備の可能性を考慮し地域を絞り込む。

第3次選定：資源循環の中心的施設として十分に機能するための要件を満たす地域を絞り込む。

第4次選定：技術、環境、経済面などを総合的に評価して、最も合理的な箇所を選定する。

整備候補地選定フロー

